

団体名 沖縄県立沖縄水産高等学校	連絡先 TEL : 098-994-3483 Eメール : school@okisui-h.open.ed.jp/
-------------------------	--

1 実践事項 (②)

「各科・系列の研究・実践を通じた専門知識・技術の習得と学力向上」

2 実践内容

(1) 海洋技術科【航海類型・機関類型】における主な取り組み

- ・小高連携教育：海洋基本法（海洋基本計画）を念頭に、海洋教育推進に向け取り組んでいる。
- ・小中学校への出前授業や海洋教育体験学習「わくわくセカンドスクール」を実施し、リトルティーチャー制度を積極的に導入している。

(2) 海洋サイエンス科【海洋生物類型・マリンスポーツ類型】における主な取り組み

【海洋生物類型】

- ・シラヒゲウニ陸上養殖簡便化の研究（企業連携あり）
- ・アクアリウム水槽メンテナンス低減に関する研究
- ・沖縄の漁業を元気にするために地元漁協と連携した取り組み
- ・軽石や水道水軟水化の際に出る廃棄物を利用した新たな製品の開発
- ・糸満市立高嶺小学校と連携した、シラヒゲウニを使用した環境教育（人工授精から放流まで）

【マリンスポーツ類型】

- ・海ゴミアートコンテスト（海ゴミについて多くの人に考えてもらうための取り組み）
- ・資格取得を積極的に取り組み何事にもチャレンジする（潜水士、潜水技術検定 1.2 級、水産海洋技術検定、特殊小型船舶操縦士、2 級小型船舶操縦士
- ・部活動に積極的に取り組み勉強もスポーツも一生懸命取り組む（マリンスポーツ、カヌー、野球、ボクシング、サッカー、バドミントン、ダンスなど）
- ・九州地区水産系高等学校生徒研究発表会に参加（世界から海ゴミをなくすために）2 年、3 年の合同発表

(3) 総合学科における主な取り組み

【流通ビジネス系列】校内販売実習（模擬株式会社）を通して、ビジネス活動の一連の流れを体験する。
資格取得に向けた取り組み。

【食品科学系列】小学生に対するかまぼこ製造講座・食品技能コンテストの取組・課題研究における新商品の開発・食品技能検定、HAACCP 基本技能検定・食品衛生責任者取得 等の取組

【生涯スポーツ系列】生徒が主体となって行う、野外実習、沖縄の伝統芸能（エイサー）への取り組み、体力・持久力の向上に向けた持久走の授業、校内持久走大会の実施、各種スポーツ体験、専門学校と連携した特別授業、地域イベントへの参加、ボランティア活動。

【情報通信系列】授業（座学・実習）や講習の中で、各種情報系検定試験、電気工事士試験、無線従事者国家試験に向けた取り組みを通して学力向上を図っている。

【福祉系列】沖縄県介護技術コンテスト、福祉を学ぶ高校生研究発表会への参加に向けた取り組み、小学生への福祉体験学習、西崎特別支援学校との交流学习の実施、課題研究における福祉分野の研究、介護職員初任者研修等、福祉関係資格取得に向けた取り組み。

(4) 普通教科科目における主な取り組み（主に1学年）

- ①国語：漢字練習ドリルの活用と年3回の確認テスト実施。
- ②社会：授業の実践でICTを活用して、支援学習など課題解決に向けての取り組みに学習ソフトウェアの活用。
- ③数学：習熟度別学習によるきめ細かな学習指導。
ICTを活用した授業の実践。
- ④理科：実験・実習等の実体験やICTを利用した模擬体験を中心とした、興味・関心を持たせる授業の工夫と実践。
- ⑤英語：授業の理解と学習内容の定着を目的とした授業プリントの工夫、英語のコミュニケーション能力をはかるパフォーマンステストの実施。

3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）

（各科・系列の活動や実績等については、本校ホームページをご参照ください。）

4 成果

海洋技術科、海洋生物類型を中心とした取り組みの成果により、学力や意識の両面において目的意識を持った意欲の高い生徒の入学が増加傾向にある。また、5年連続で国公立大学に現役の合格者が出ている。小中高連携教育を通してリトルティーチャー制度を推進し、日頃の学習成果や課題研究の発表の場を設けたことで、キャリア教育形成能力が向上している。また、産学官連携教育では、進路を見据えた海運会社へのインターンシップを行うことでミスマッチの減少に繋がっている。

「わくわくセカンドスクール」などを通して小学生に教える経験が各自の学習を促し、生徒の学力向上に少なからず影響していると考えられる。

5 課題

今後は、Society5.0に向けた人材育成や教育DXの普及推進が喫緊の課題となっている。また、各科・系列を越えた横断的、全体的な学力の底上げを目指した取り組みに励んでいく。